

ピカイチ先生の  
生活経営セミナー

2016年10月  
仕組で稼ぐ家計簿  
(④ 口座を整理する)

ネクストライフ・コンサルティング

〒975-0038  
福島県南相馬市原町区日の出町167-3  
info@next-life-consult.com

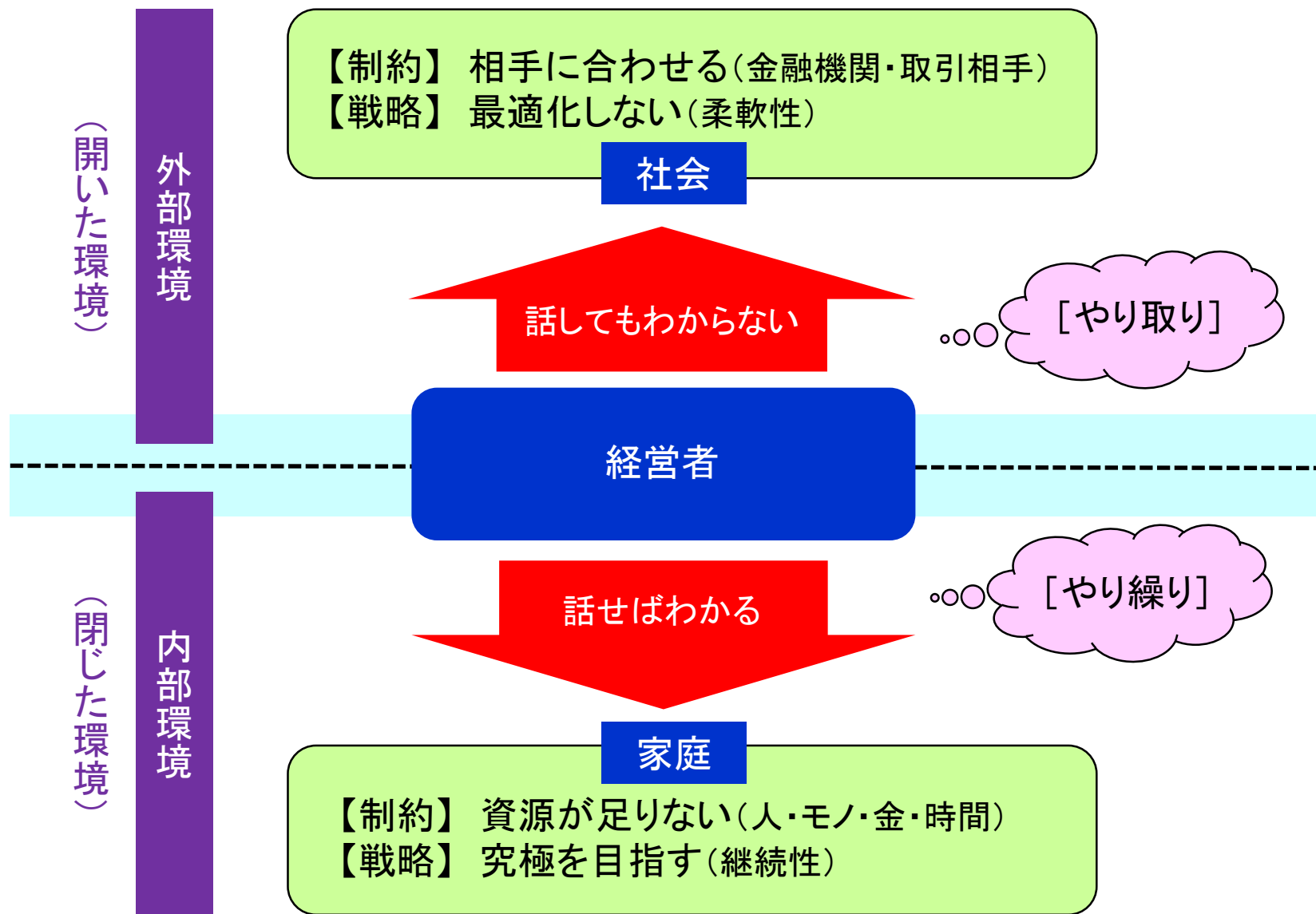


ピカイチ先生

ピカイチ先生

検索

# 内部環境と外部環境



# 口座を区別する

「やり繰り」の主体（家庭の都合）

やり取りの対象  
（社会の都合）

	家事	家業
決済	<p>〇〇銀行(家事決済)</p> <p>①安全性(セキュリティ) ②利便性(インターネット)</p>	<p>〇〇銀行(家業出金) 〇〇銀行(家業入金) △△銀行(自動払込)</p> <p>①安全性(セキュリティ) ②コスト(手数料) ③利便性(インターネット)</p>
貯蓄	<p>〇〇証券(家事貯蓄) △△証券(家事貯蓄)</p> <p>①安全性(セキュリティ) ②コスト(手数料) ③利便性(インターネット)</p>	<p>×</p> <p>現金は家計簿で一元管理</p>

# 口座を整理する

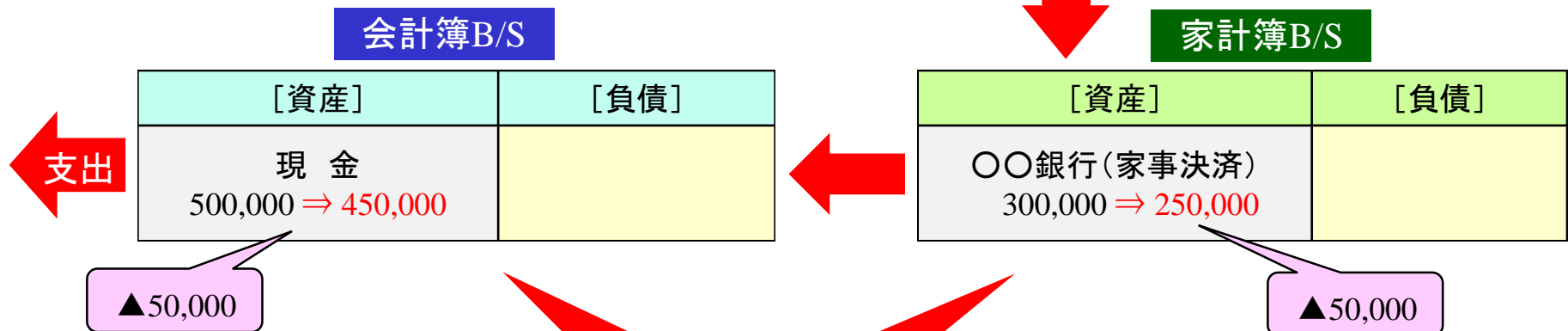
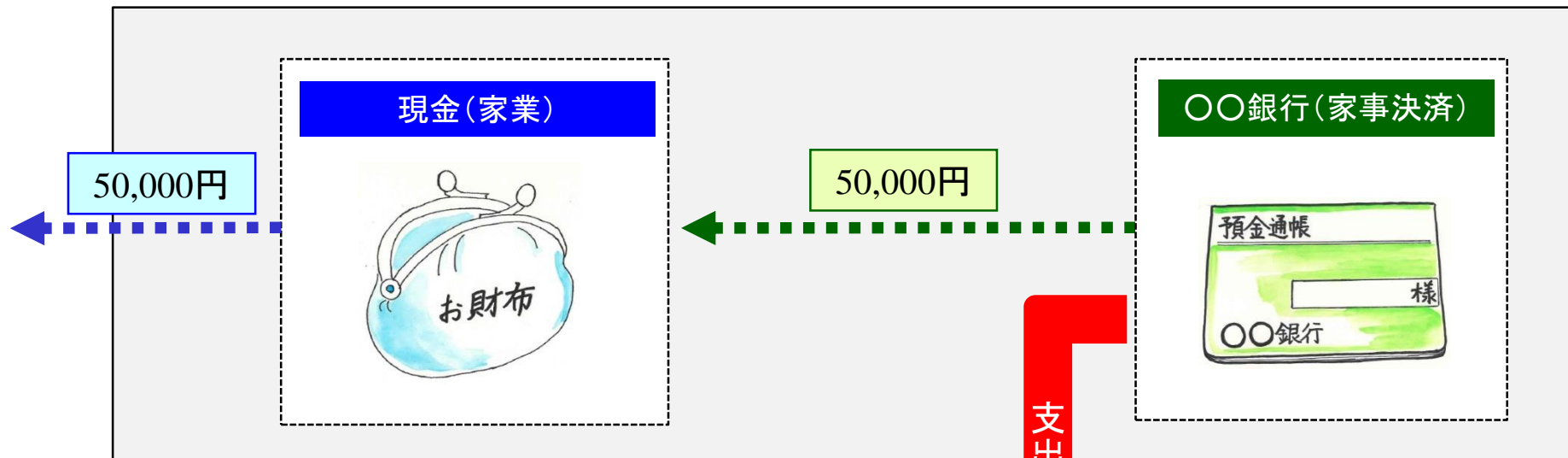
- ① 要る口座と、要らない口座を区別し
- ② 要らない口座を解約する

○ need (必要)  
 × want (欲しい)



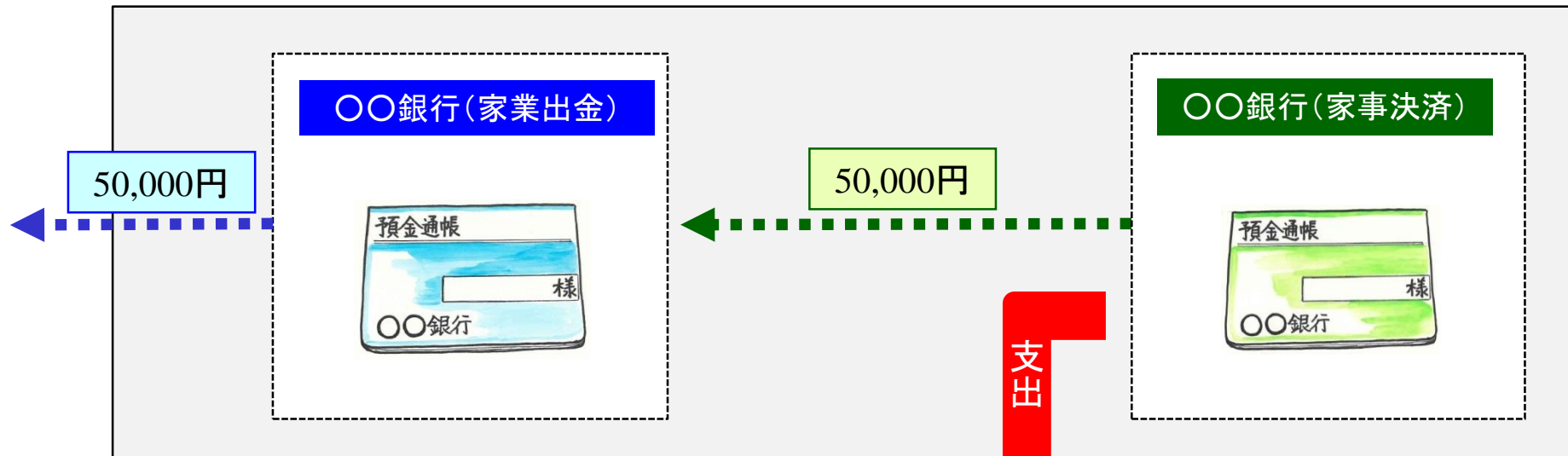
	家事	家業
決 済	<ul style="list-style-type: none"> <li>●過去のしがらみ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・給与の振込口座</li> <li>・住宅ローンの引落口座</li> <li>・PTA会費の引落口座</li> </ul> </li> <li>●地域のしがらみ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共料金の引落口座</li> </ul> </li> </ul> <p>※ 取扱銀行に制限がある場合は、現金払いへ変更</p>	
貯 蓄		

# 口座の仕組み (①家事口座から出金)



・重複は、月末処理で調整する(月末調整)  
 ・按分は、決算処理で調整する(家事按分)

# 口座の仕組み (②家業口座から出金)



会計簿B/S

[資産]	[負債]
○○銀行(家業出金) 10,000 ⇒ 60,000	事業主借 400,000 ⇒ 450,000

家計簿B/S

[資産]	[負債]
○○銀行(家事決済) 300,000 ⇒ 250,000	

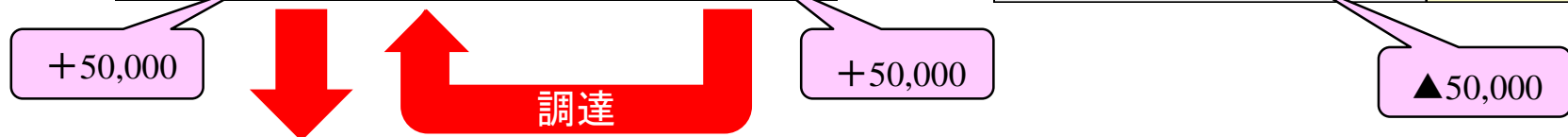
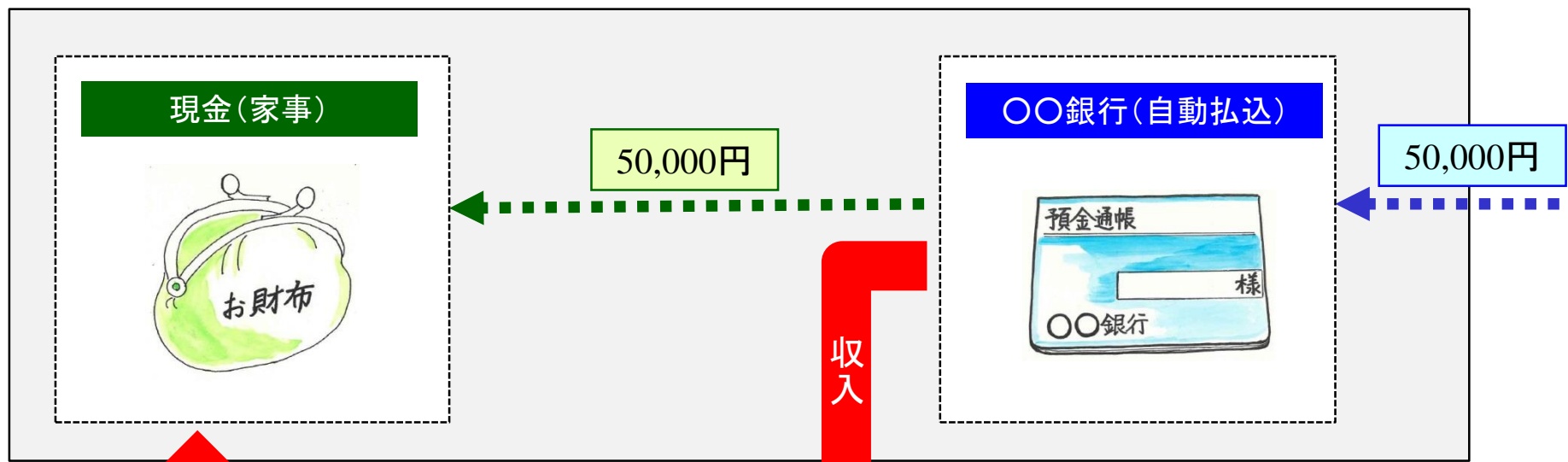


Diagram showing the final state of the business B/S after the withdrawal. A red arrow labeled '支出' (支出) points left from the business B/S. A callout box shows ▲50,000 for business liabilities.

[資産]	[負債]
○○銀行(家業出金) 60,000 ⇒ 10,000	▲50,000

# 口座の仕組み (③入金を現金へ)



収入

家計簿B/S

[資産]	[負債]
現金	事業現金
60,000 ⇒ 110,000	200,000 ⇒ 250,000

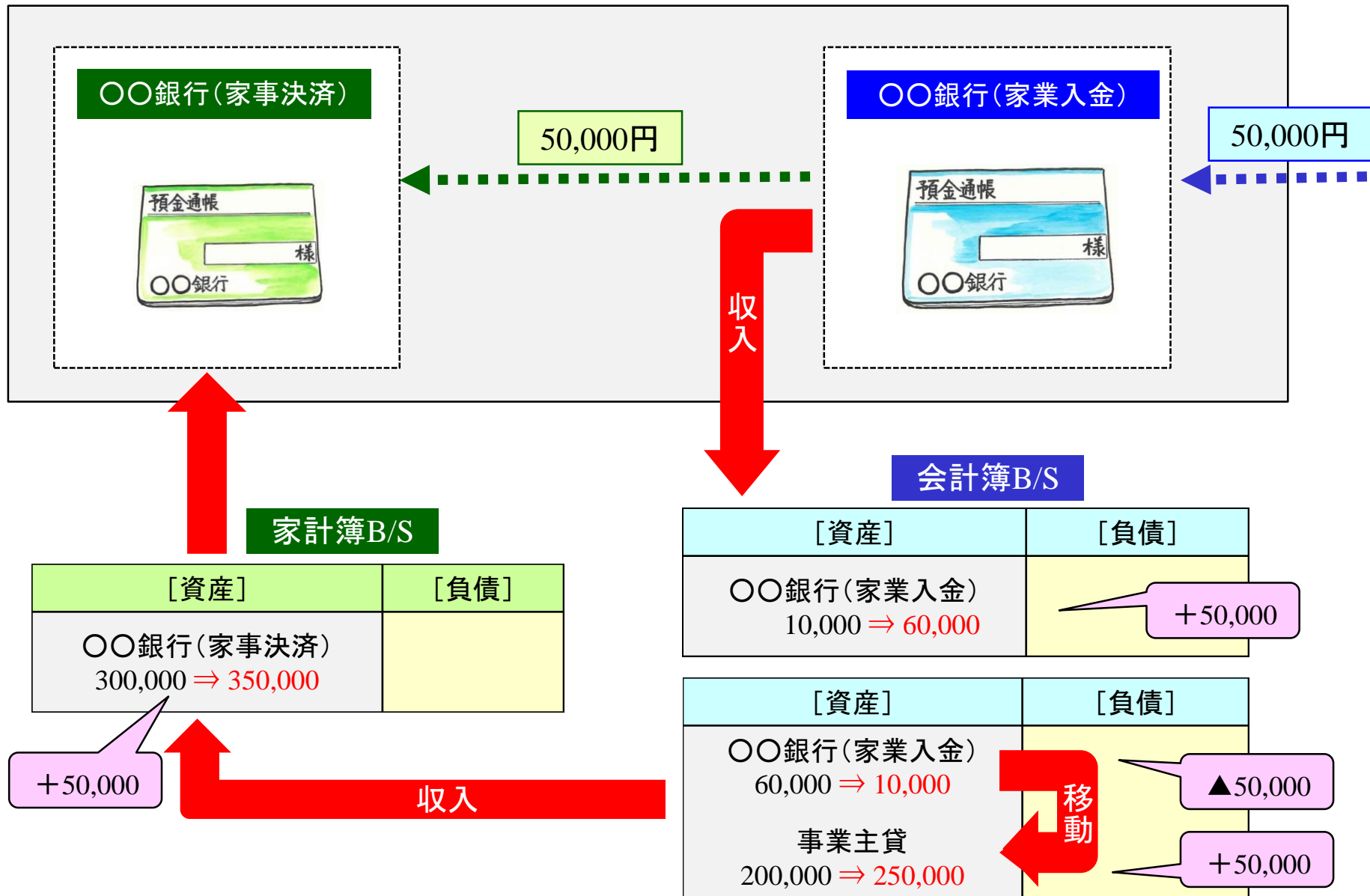


会計簿B/S

[資産]	[負債]
△△銀行(自動払込)	
10,000 ⇒ 60,000	+50,000
△△銀行(自動払込)	
60,000 ⇒ 10,000	▲50,000
現金	
200,000 ⇒ 250,000	+50,000

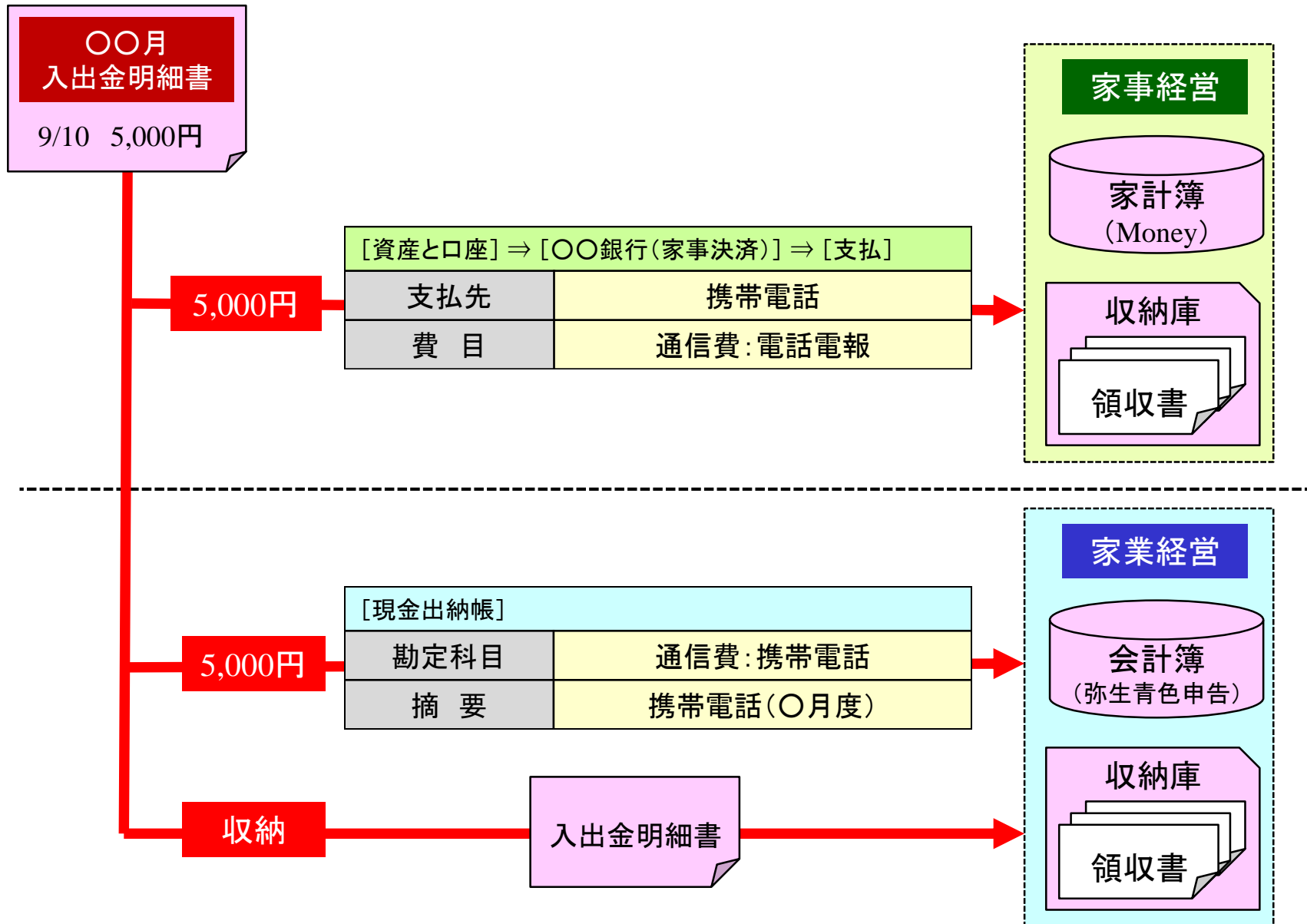
移動

# 口座の仕組み (④入金を家事口座へ)

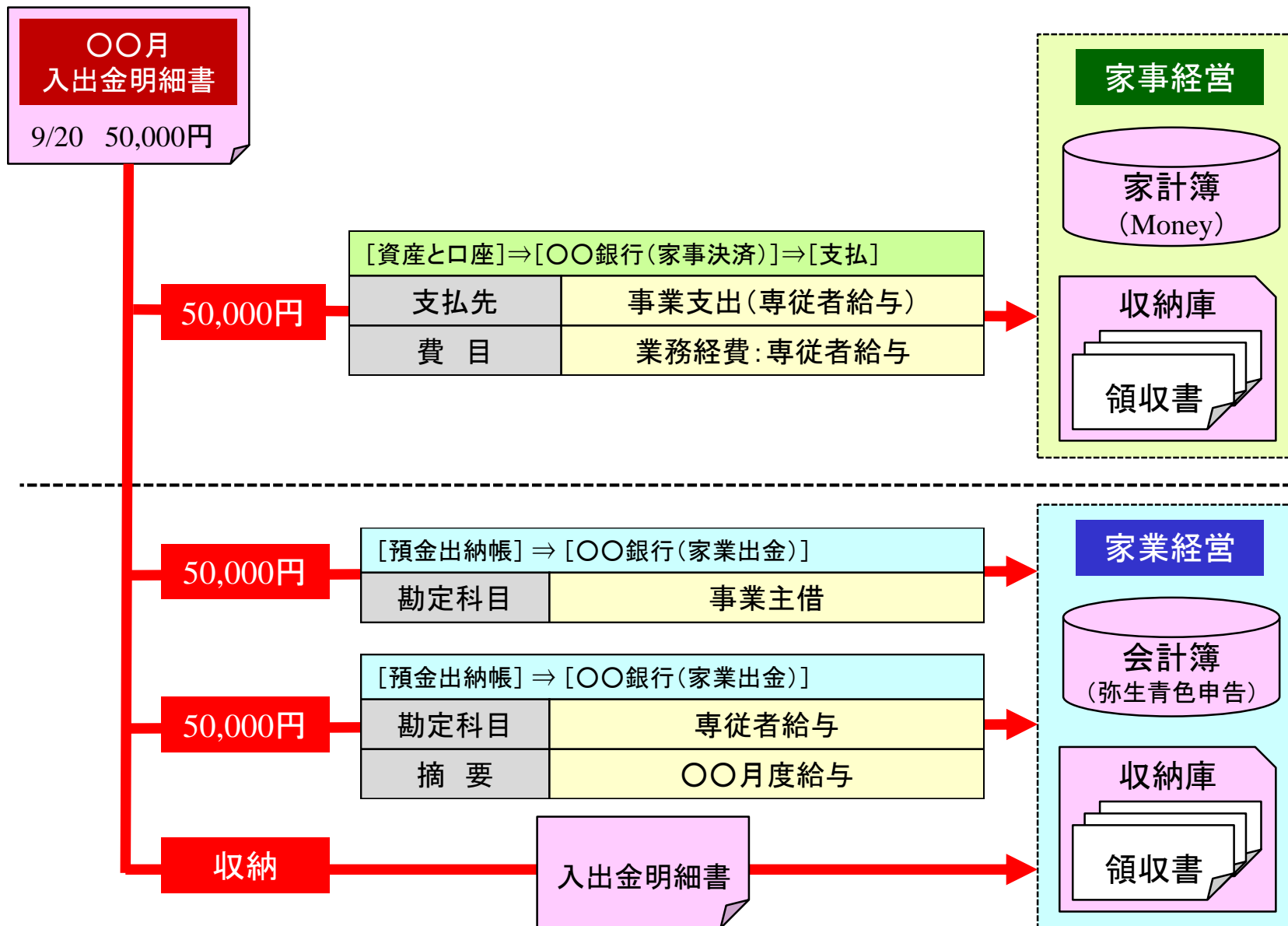




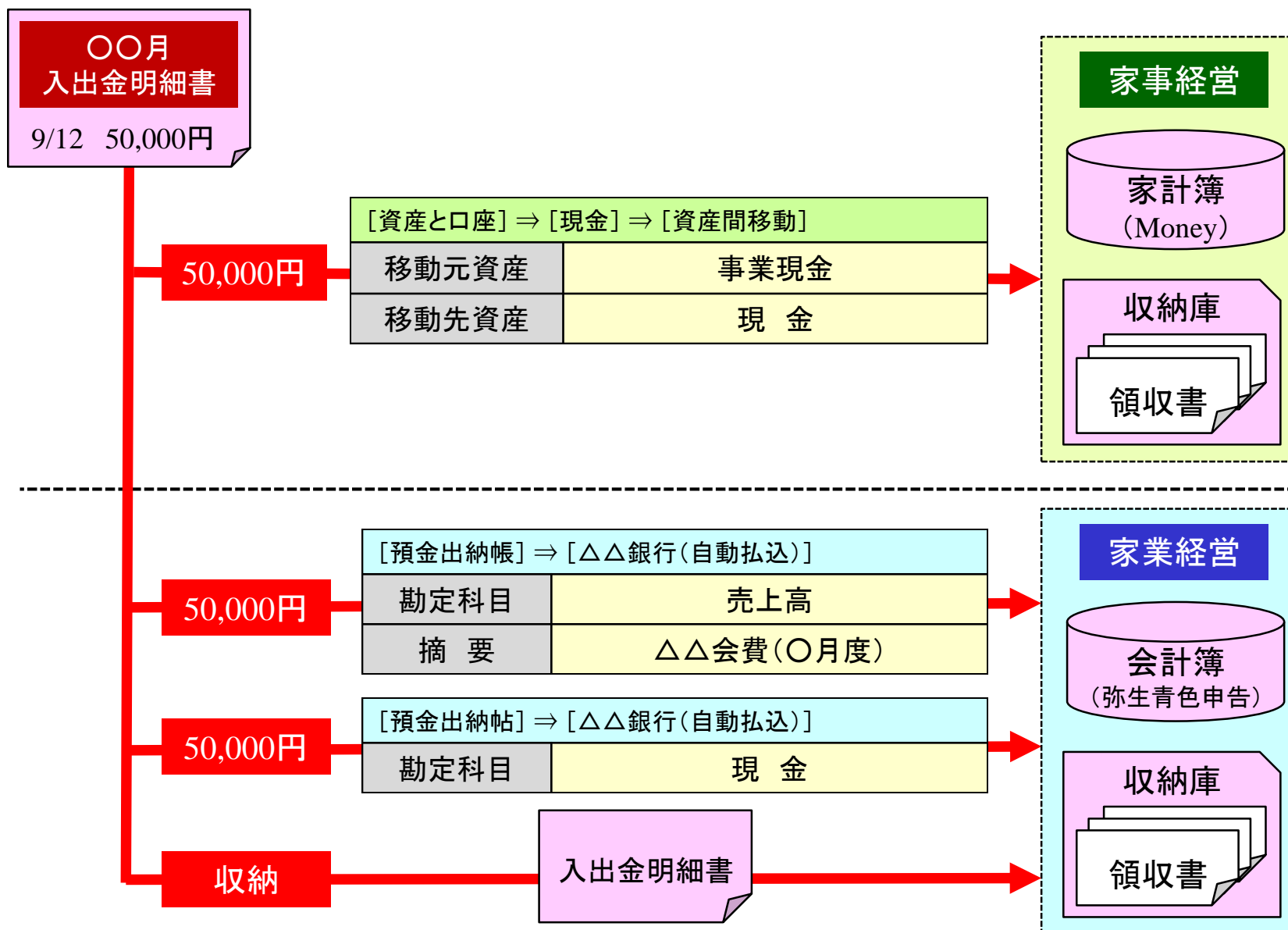
# 口座の仕訳 (①家事口座からの出金)



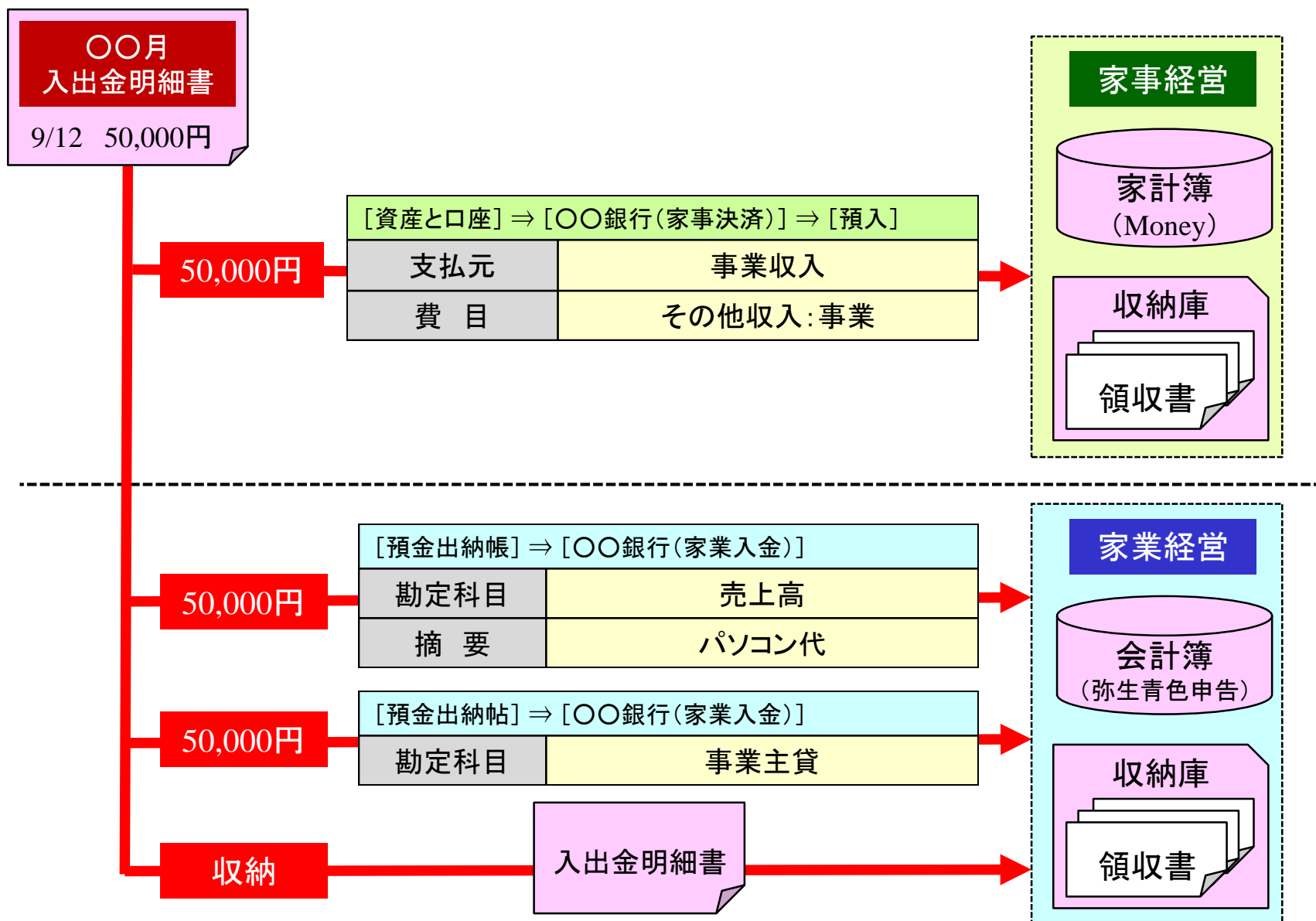
# 口座の仕訳 (②家業口座からの出金)



# 口座の仕訳 (③入金を現金へ)



# 口座の仕訳 (④入金を家事口座へ)



# おじさんは世界をめざす

いまの日本って、「女のおばさん」が減っているでしょ。どんどん「女のおじさん」化している。**おばさん**がいなくなったことが、日本の問題なんじゃないか。

日本の**おじさん**は、もともと**おばさん**的なんですよ。「正しい日本の**おじさん**」は女性ジェンダー化するもんです。父権的に始終威張っている男って、日本では傍流でしょ。

二十一世紀は、**おばさん**の時代というか、**おばさん**的キャラクターが求められる時代だと思う。**おじさん**にはプリシンプルである。世界理論がある。「俺らの相手は世界だ」っていう。あれ、邪魔なんですよ。**おばさん**は世界なんか相手にしない。相手にするのは町内会。ローカルから始まるのが、**おばさん**。一気に世界をめざすのが、**おじさん**。

**おばさん**は自分自身が語る言語のローカリティを自覚しているけど、**おじさん**は自覚していない。ローカルなくせに、いきなりユニバーサルなことを言い出す。

自分で「世界の」ってつい言っちゃうのが**おじさん**。

おのれのローカリティを徹底して、はい、こんなにローカルなんですよって言い切って、さらにおのれのローカリティを相対化できる言語を持っていれば、それこそ世界性でしょ。

日本人はいきなり世界をめざしちゃダメですよ。

「日本の文脈」(内田 樹、中沢 新一)より

# おばさんはゲリラ戦

日本人って、女性ジェンダー化しているときに、いちばんパフォーマンスがいいんじゃないかな。「俺は男だ！」って意気がると、ろくなことがない。**おばさん**は保守だし、**おばさん**は革命なんて、絶対やらないし。

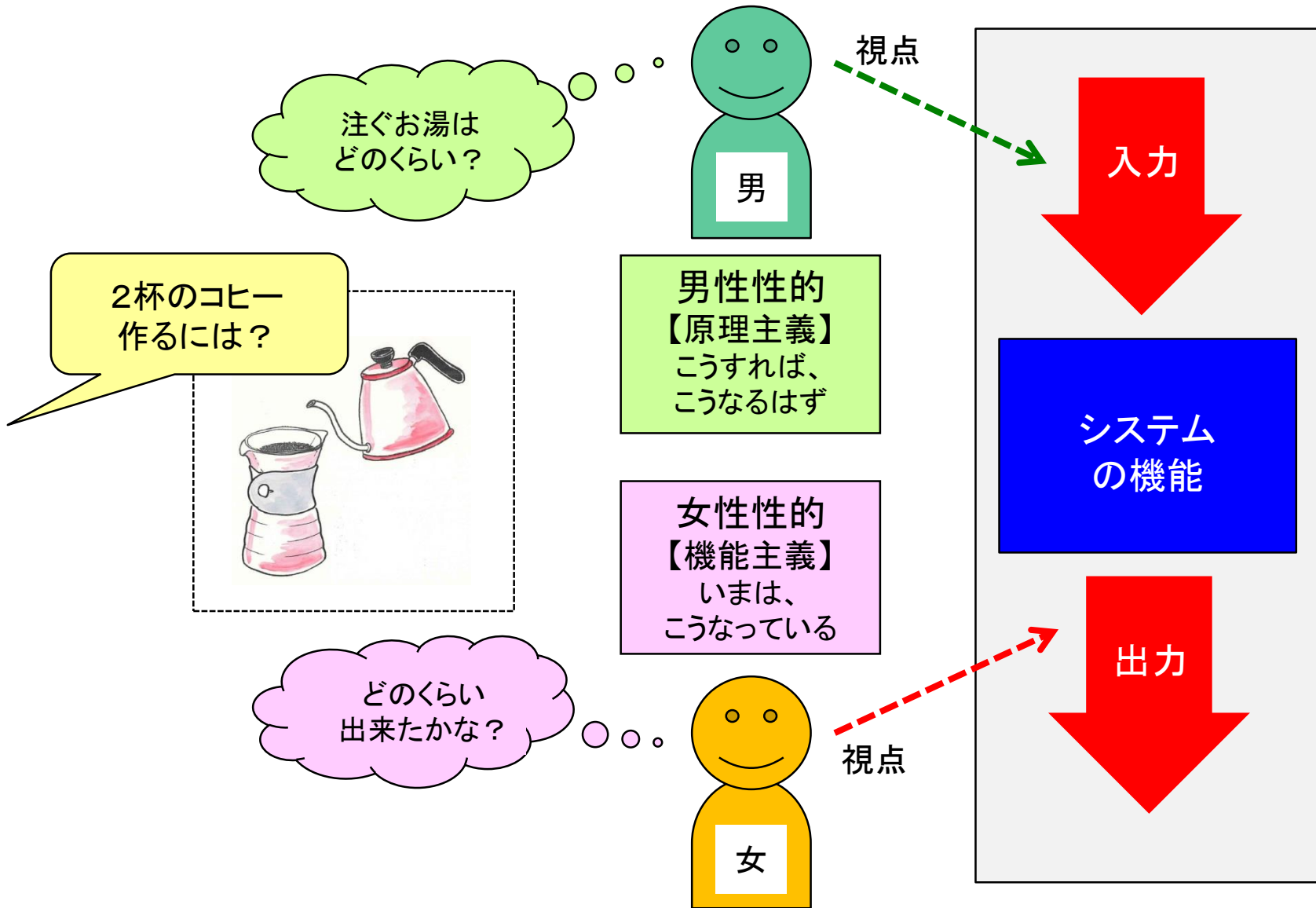
フェミニズムって不思議な理論ですよ。徹底的に**おじさん**的な言説で、ぜんぜん女性性がないでしょ。「女性性って、もっとやさしくて、受容的なものなんじゃないですか」って言うと、「それは父権制イデオロギーが押しつけた女性性である」って反論されるんだけど、そういうご本人は攻撃性にしても論理へのこだわりにしても、「父権制が押しつけた男性性」そのものですからね。

ユダヤ人はヨーロッパ文化における**おばさん**だから。辺境民はおばさん化しちゃうんです。アメリカの場合だと、先住民族とアフリカ系、……、周縁に追いやられた人たちというのは、どうしても生きていく上で**おばさん**化するわけですよ。メインストリームにいるのは**おじさん**だから、力で負けてしまう。だから、「あんたたちが欲しがってるものなんか、いらぬよ」っていう方向へ行くしかない。

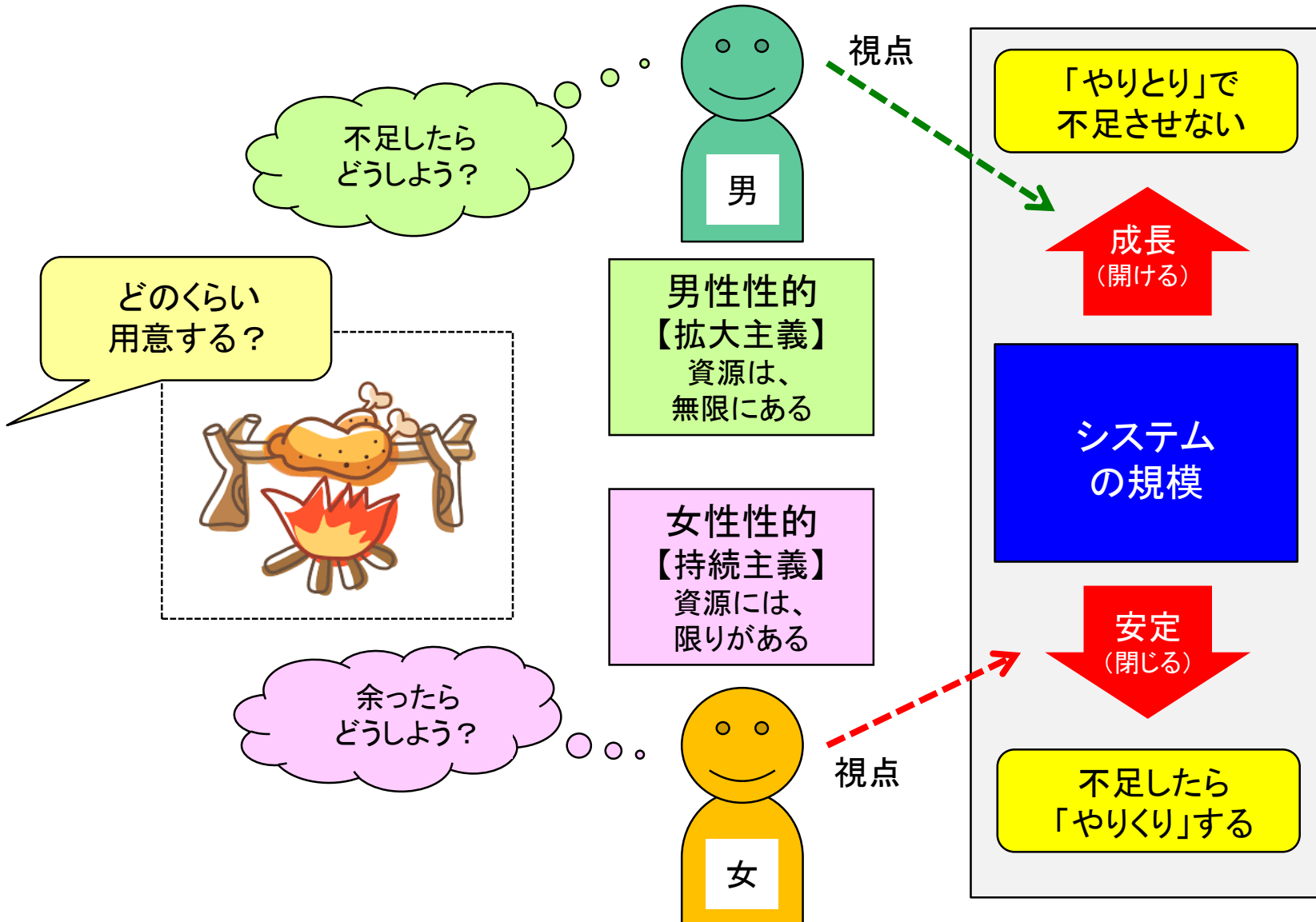
正規戦じゃなくてゲリラ戦ね。**おばさん**の本性はゲリラ戦です。ニッチとゲリラ。

「日本の文脈」(内田 樹、中沢 新一)より

# システムの時間とジェンダー



# システムの空間とジェンダー





# 男性と男性性的

どうして男が「交換の主体」であり、女が「交換の対象」であるかという、答えは簡単。

男それ自体には交換物として価値がないからである。

男は再生産しない。

父権制というのはフェミニストたちが正しく指摘するように男に「不当に高い価値を賦与するシステム」のことであるが、どうして男に「不当に高い価値を賦与する」のか、その理由は論理的に考えればすぐにわかる通り、男には価値がないからである。

だから、男性にのみ選択的に与えられるすべての価値は原理的に「不当に高い価値」なのである。

と書くと、また「男性が権力も財貨も情報も文化資本も現にすべての価値を独占しているのではないか」ということを言い出す方がおられるかもしれない。

だからですね。

つねづね申し上げている通り、国家や貨幣や威信などというものはすべて男が作り上げた幻想であって、このようなものには生物学的に鏹一文(びたいちもん)の価値もないのである。

「こんな日本でよかった」(内田 樹)より